

二人で晩酌を楽しみながら、来年のスペイン旅行を計画。 コロナ禍の時間を取り戻したい

京都〈ゆうゆうの里〉 岩本弘様(79才) 明子様(75才)

平成26年10月 二人入居

主人に「二人で山歩きしよう」と言われ、私も「二人より二人の方がいいなあ」と思い、二人の距離が縮まりました

明子様 二人は同じ会社の同期入社。主人達数名がワンゲル部を立ち上げ、私もそこに入部したものの、やがて活動がなくなつてからは、接点はありませんでした。その後、主人とは会社の「歩こう会」という会で20年ぶりに再会しました。「歩こう会」では、メン



思い出の旅、スペイン・サンチャゴ巡礼路100km踏破の途上で

バー皆がスイスアルプスに憧れていたの、私が行く旅行を企画することに。弘様 そう。皆のためにアルプスの旅を企画して、海外旅行の楽しさを教えてくれた人が彼女です。一緒にいると本当に楽しいです。

明子様 この会では、夏休みを利用して国内・海外のハイキングや山歩きに出かけました。主人とは二度目のイタリア・ハイキングツアーで仲良くなつたように思います。主人の「あちらこちら山歩きしよう」という言葉を聞いて、私も「一人より二人の方がいいなあ」と。

結婚してからも、お互いを尊重し、助け合つてきました

明子様 2002年一月に結婚しました。大好きなニュージールランドの小さな教会で二人だけの結婚式を挙げ、現地の方々に祝福されました。

弘様 結婚して20年ほどになりましたが、妻がいると僕が何もしなくとも生活が成り立っています。僕には欠かせない存在です。

明子様 主人は優しい人です。結婚して3ヶ月、私は53歳で希望退職しました。具合の悪くなつた母をしつかり見てあげたかったからです。その時主人は、定年後も3年ほど勤務を続けてくれました。おかげで私は母との時間を十分に取り悔いなく看取ることがで

きました。

明子様 海外旅行は結婚してから40回ほど行きました。サンチャゴ巡礼路で大聖堂までの100kmを歩いた旅では、主人が何度も「大丈夫か？」と声をかけてくれ、嬉しかったことを思い出します。ようやく大聖堂に辿り着いた時は胸がジーンと熱くなりました。

二人とも早くからホームに入居する考えで二致しました

弘様 晩婚でしたから結婚した時から、身内に迷惑をかけない老後を考えていました。親が施設や病院を転々としたので、本人も身内もその苦勞は大きいと知っていたからです。

明子様 兄姉が結婚して母と二人暮らしになった30代から将来のことを考え、40歳で〈ゆうゆうの里〉のような自立入居型ホームがあることを知りました。詳しい情報を調べ主人と相談してましたので、夫婦共に元気なうちのホーム入居という考えで一致してました。

弘様 ここは、最後まで面倒を見てくれる施設で、京都市内まで近い割には自然環境が豊かです。食事、大きなお風呂も気に入りました。



した。明子様 敷地が広く空が広いと感じます。人生の大きな投資なので失敗は許されません。大きな施設なら、万一苦手な人がいたとしても、うまくかわすことができるということ迄考えました。

コロナが明けたので、来年はスペイン行きを計画しています

明子様 ゆつたりした気持ちで暮らしています。入居して5年ほどは外出ばかりしていましたが、二年前からフォークダンスやピンポンサークルにも参加。「きょうゆう委員」という入居者代表になつてから忙しくなつたので、毎日食堂を利用するようになりました。夕食には缶ビールを一缶ずつ持参し二人で軽い晩酌を楽しんでいます。

弘様 入居してからずっと、散歩と旅行を楽しんでいましたが、コロナ禍でお預けでした。これからまだまだ行ってみたいです。

明子様 コロナ禍で失われた貴重な時間を返して欲しい気分です。来年はスペインに行く計画を立てています。コロナ以前、夫は「四国88力所歩き遍路」や「街道歩き」など、次々と計画して一人でも出かけていました。これからは一緒に回りたいと思っています。